

胃内視鏡検査を受ける方へ(3通りあります)

口からの内視鏡検査

(ご希望によって鎮静剤が使用できます)

鎮静剤を使用した場合

ぼーっとした状態で検査を受けることができます。
全身麻酔ではないので、効果が少ないことがあります。
検査後は1時間程度休んでいただきます。

※下記の方は鎮静剤を使用できません。

- ・前歯～犬歯までに歯のぐらつきがある方
- ・前歯～犬歯までに仮歯がある方
(治療中を含む)
- ・差し歯など前歯に気になる歯がある方



鎮静剤を使用しなかった場合

画面を見ながら検査を受けることができます。
検査後気分が悪くなければ次の検査に案内できます。

鼻からの内視鏡検査

(鎮静剤は使用しません)

口からの内視鏡検査との違い

嘔吐反射が少なく、
検査中会話ができます。

※下記の方は鼻からのカメラはできません。

- ・鼻の病気がある方
 - ・鼻のケガをしたことがある方
 - ・鼻血が出やすい方
 - ・抗血栓薬を内服されている方
- * 鼻出血・鼻痛を伴うことがあります。
- * 鼻からカメラが入らない場合、
口からのカメラに変更になります。
その際、鎮静剤は使えません。
- * 前処置の時間が長いため、口からのカメラの方と順番が
入れ替わることがあります。

